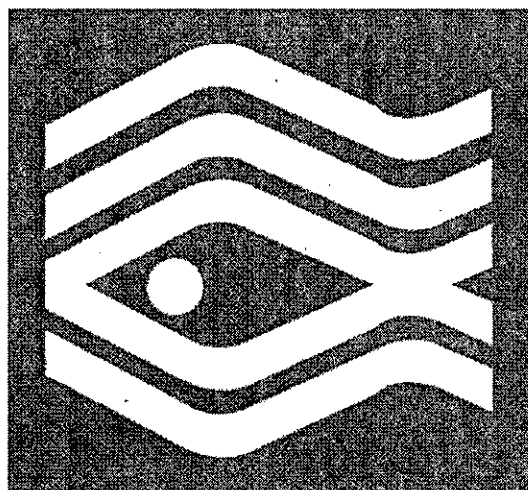


第31回全国豊かな海づくり大会の基本構想（案）及び開催候補地（案）について

第31回 全国豊かな海づくり大会 鳥取大会（仮称）

基本構想 （案）



（第31回 全国豊かな海づくり大会 鳥取県実行委員会）

平成21年 月

1 開催意義

〈鳥取県の水産〉

鳥取県は、県のほぼ全域が日本海に面し、海岸線の総延長は 129 km で、その約 65 % が砂浜海岸で占められています。古くから、まき網、いか釣り、底びき網、かにかご、刺網などの漁船漁業が行われており、ズワイガニ、ベニズワイガニ、マグロ、ブリ、スルメイカ、アジなど四季折々の新鮮な海の幸が漁獲されてきました。

しかし、近年、漁業経費の高騰、水産資源の減少、漁場環境の悪化、漁業就業者の減少と高齢化など、本県の漁業を取り巻く状況も厳しさを増しており、これらの課題を克服し、漁業の担い手確保や活気あふれる水産業を取り戻すことが重要な課題となっています。

〈豊かな自然を次世代へ〉

鳥取県の約 74 % を占める豊かな森から流れ出る水は、清らかな川の流れとなって田畑を潤し、様々な生き物を育んできました。清らかな水は自然との調和の中で維持され、県民の生活に恵みをもたらしています。このように緑あふれる森林や森・川・海が一体となった自然の循環を守り、次世代の子どもたちに引き継いでいくためには、全ての県民が考え、行動していくことが重要です。

また、鳥取県の東部には、花崗岩類が日本海の冬の季節風による波浪で侵食・風化された海食地形など、貴重な地形・地質遺産を多く確認することができます。これを保全するためには、住民、行政、民間が協働で取組まなければなりません。

このような中、本県において「全国豊かな海づくり大会」を開催することは、県民一人ひとりが環境の保全に対する意識の高揚を図るとともに、水産資源を維持し、本県の水産業の振興と発展を図る上で、大きな契機になるものであります。

2 基本理念

豊かな海の恵みに感謝し、将来につなげる海づくりと

安全・安心で豊かな農林水産物がとれる「食のみやこ鳥取県」を全国へ発信する

3 基本方針

(1) 水産業の持続的発展

本県水産業の持続的・安定的発展のために、「資源の適切な管理」「つくり育てる漁業」「豊かな漁場づくり」による水産資源の確保と「漁業の担い手確保」の一体的推進に一層取組み、未来を切り拓く大会とします。

また、このような取組みや水産業の重要性を認識する大会を開催することで、漁業に取組む地域の将来に向けた水産業の在り方や、今後の取組みを皆で考えることを鳥取県から発信します。

(2) 豊かな自然環境の保全

鳥取県の豊かな自然、環境を守り、育てていく気持ちを次の世代へつなげる礎となる大会とします。

特に、河川・湖沼、海の環境の保全や改善・再生につながる活動に一人ひとりが取組む契機となる大会とします。

(3) 鳥取県の魅力発信

「食のみやこ鳥取県」のきれいな海で獲れる安全・安心な水産物、美しい環境の中で育てられた四季折々の素晴らしい農産物などの魅力を全国に効果的に発信する大会とします。

特に、水産物の優れた栄養や美味しさを再認識してもらい、本県水産物の消費拡大を提唱する大会とします。

また、鳥取県の豊かな自然、温泉、歴史、芸術・文化等の魅力を全国に発信します。

(4) 温かみのある大会

水産業を中心とした関係団体や漁業関係者、ボランティアなどとの協働、連携により、大会に関係する県民が一丸となって、おもてなしの気持ちで、温かみのある大会とします。また、創意工夫による手作りの大会とします。

4 大会の概要

- (1) 大会名称 第31回 全国豊かな海づくり大会 鳥取大会 (仮称)
- (2) 主催 豊かな海づくり大会推進委員会
第31回 全国豊かな海づくり大会 鳥取県実行委員会
- (3) 後援 農林水産省、環境省
- (4) 開催時期 平成23年9～10月の土曜・日曜の2日間
- (5) 開催場所 鳥取市 (鳥取港周辺)
- (6) 行事概要 別表のとおり
- (7) 大会テーマ 公募により決定します
- (8) 大会キャラクター 公募により決定します

5 プレイベント

県民に漁業についての理解を深めてもらったり、海の環境の大切さを考えてもらって、大会に向けての機運を盛り上げていくために、1年前及び100日前にプレイベントを行います。

6 大会参加者

| | 区 分 | 内 訳 |
|---------------------|--|--|
| 招待者等 | 皇室・宮内庁関係者 (約20名) | 天皇・皇后両陛下、宮内庁関係者、皇宮警察関係者 |
| | 県外招待者 (約700名) | 豊かな海づくり大会推進委員会関係者、国関係者、中央団体関係者、被表彰者、各都道府県関係者等 |
| | 県内招待者 (約500名) | 国会議員、県議会議員、県関係者、市町村関係者、在県官公庁関係者、県実行委員会関係者、水産関係者、被表彰者、出演関係者、協力団体、県内公募招待者等 |
| 一般来場者 | 放流行事参加者、展示・物販来場者 | |
| 関係者 (約500名) | 出演者 (式典行事、海上歓迎・放流行事)、展示・物販関係者、協力員 (高校生等) | |
| 実施本部職員 (約1,000名) | 県職員、開催市職員、水産団体関係者 | |

第31回 全国豊かな海づくり大会 鳥取大会 行事概要

| 場 所 | 行 事 名 | 内 容 |
|---|----------------------------------|---|
| 式典会場 | 歓迎アトラクション (プロローグ) <対象：招待者> | 招待者を温かく歓迎し、大会の開催を祝して、児童・生徒による集団演技や本県の特徴ある郷土芸能などを披露します。 |
| | 式典 <対象：両陛下、招待者> | 大会旗入場、挨拶、表彰（栽培漁業、資源管理型漁業及び漁場・環境保全など豊かな海づくりのために功績があった団体など）、最優秀作文の発表、児童によるメッセージ、漁業後継者の決意表明や大会決議などを行います。 |
| 放流行事会場 | 海上歓迎行事 <対象：両陛下、招待者> | 本県水産業の活力を示し、恵みをもたらす海への感謝を込めて、漁船による海上パレードなどを実施します。 |
| | 放流行事 <対象：両陛下、招待者> | 海への感謝の心を養い、次代へ豊かな海を継承するため、それぞれが願いを込めて稚魚や稚貝の放流を行います。 |
| | 放流魚等御覧 <対象：両陛下> | 海上歓迎・放流行事の開始前に、小型水槽に入れた放流魚等を両陛下に御覧いただきます。(県の専門技術者説明) |
| 未 定 複数箇所 を想定 式典法流 会場と分 離の可能 性あり | ステージイベント <対象：招待者、一般> | 一般来場者に「式典・放流行事」の同時中継を検討します。また、多様なアトラクションや伝統芸能で鳥取の魅力を伝えます。 |
| | 企画展示 <対象：招待者、一般> | 海や水産業、環境に関する研究成果などを楽しく、分かりやすく展示します。料理教室やタッチングプールなど鳥取ならではの思い出となる体験型のイベントを行います。また、「かにっこ館」などの既存施設の活用や食のみやこフェスタ（農林水産祭）、境港水産祭などの既存イベントとの連携を図ります。 |
| | 物産販売・飲食 <対象：招待者、一般> | 広く一般の来場者が「海づくり大会」に参加し、楽しめる会場とします。農林水産物を中心に県内各地の特産品を展示販売するとともに、既存店舗や既存イベントと連携し相乗効果を図ります。 |
| ホテル | 歓迎レセプション <対象：両陛下、関係者> | 大会前夜、両陛下の御臨席のもと、大会関係者を招待して歓迎レセプションを行い、「食のみやこ鳥取」の素晴らしい食材でおもてなしをします。 |
| 未 定 | 絵画・書道優秀作品御覧 <対象：両陛下> | 全国豊かな海づくり大会を記念して、小・中学生を対象に絵画・書道コンクールを実施し、優秀作品を両陛下に御覧いただき、受賞者の子どもたちに声をかけていただきます。(県教育長説明) |